

=====

アレルギー支援ネットワーク 通信 (仮称)

=====

NO.7 2007.8.2

-

このメールマガジンは、アレルギー支援ネットワーク会員のみなさまへお送りしています。

-

アレルギー支援ネットワーク通信第8号をお届けします。さあ、本格的な夏の到来です！夏休みも始まりました。皆さん夏の計画はしていますか？夏休みには、海や山へ出かけたいですね！それとも、帰省ですか？今年も夏の思い出を作りましょう！では、今月もメールマガジンをお届けします。

★---☆ も く じ ☆-----★

1. テーマ「アレルゲン表示」その4

2. アレルギー支援ネットワーク理事の声 ーその8ー
渡邊理事から みなさまへ

3. 会員からみなさまへ

4. ホームページのお知らせから

1) アレルギー大学講座受講者の声 その2
～アンケート「第2期アレルギー大学」(愛知)から～

5. ニュース・エトセトラ

1) 食育ネット「ミニ講座」(主催:三木ライフサポート) 開催延期のお知らせ

6. ボランティア・スタッフ募集

7. アレルギー支援ネットワーク一般会員募集します

8. メールマガジン無料会員募集します

※今回は ○賛助会員からのメッセージ
○事務局の窓辺から はお休みさせていただきます。

☆-----★

※ 等幅フォントでご覧いただくと最適に表示されます。

◆-----◇

☆1. テーマ「アレルギー表示」その4★

◆-----

前号までは表示ミスによる体験談が掲載されました。アレルギー表示がいかに大切かがよく分かります。

現在、アレルギー義務表示は5品目となっています。これに対して、今年の3月23日、厚労省と農林水産省が合同して開いている「第32回食品の表示に関する共同会議」（以下「共同会議」）では、新たに「エビ・カニ」を義務表示にする案が出されました。

そこで、アレルギー大学「食品学の講座」でおなじみの和泉先生（名古屋学芸大学管理栄養学部准教授）に今回のエビ・カニ義務表示における「アレルギー表示のメリット・デメリット」を寄せていただきましたので掲載させていただきます。

尚、「共同会議」での詳細内容は <http://www.mhlw.go.jp/shingi/2007/03/s0323-7.html> にてご覧いただけますのでご参照ください。

また、「エビに係る技術的検討の成果について（2）」として宇理須先生（アレルギー支援ネットワーク顧問・藤田保健衛生大学坂文種報徳會病院小児科教授）が「共同会議」で報告をされています。<http://www.mhlw.go.jp/shingi/2007/03/dl/s0323-7k.pdf> これも併せてご覧ください。専門的な報告ですので、宇理須先生からは「今後、検査法などの検証を更におすすめしていくことになるでしょう。ご質問があれば、出来るだけ解説させていただきます」とのコメントをいただきました。皆様のご質問があれば、次号以降掲載させていただきます。また、ご意見、体験談なども引き続き掲載しますのでお寄せください。

「アレルギー表示の見直し（メリット・デメリット）」

和泉秀彦（名古屋学芸大学 管理栄養学部）

食品のアレルギー表示は、平成13年に発症件数が多い「卵・乳・落花生」3品目と、症状が重篤であり特に留意が必要な「そば・落花生」2品目をあわせた5品目を原材料として使用している加工食品には、その品目を含む旨を表示することが義務付けられ、現在に至っている。また、「大豆・鶏肉・えび・かに」など20品目（バナナが平成17年より追加）の任意表示が推奨されている。

しかし、第32回「食品の表示に関する共同会議」において、「えび」に関するアレルギー発症の実態および検知技術の調査結果が報告され、「えび・かに」のアレルギー表示の義務化が検討されることになった。平成17年に実施されたモニタリング調査では、食物アレルギー発症の原因物質として「えび・かに」で全体の5%を占め、鶏卵・乳・小麦・果物類に次いで5番目に多い結果となった。また、成人では初発症例数および誤食症例数とともに第1位であった。つまり、表示の義務化の一番の要因は発症件数の多さということになる。また、最初は「えび」のみが取り上げられていたが、「かに」が「えび」と交差反応性（同一アレルゲン：トロポミオシンの存在）を示すことより、両方を義務表示品目へ追加することになった。義務表示の対象となる「えび」および「かに」の範囲も再検討され、「かに」に関しては従来通り「かに類」であるが、「えび」に関しては従来の「えび類」に「いせえび・うちわえび・ザリガニ類」も加えられる。

メリットとしては、表示の義務化により誤食などによる発症が低減することがあげられる。発症件数が増えていることやショック症状がでることからも表示の義務化は大いに意味のあることになる。しかし、「えび・かに」は加工食品に広く利用されており、どの程度の形態まで表示されるかにより患者が混乱する恐れがある。また、「えび・かに」の小さな固体は必ずコンタミネーションがおこるため、加工食品からの検出が可能かどうかという問題が残る。

このように問題点はあるものの、今後は、検査キットの早期開発とその精度の向上、さらに加工食品における具体的な表示方法を示し、パブリックコメント・表示部会・食品衛生分科会と手続きを進め、改正施行規則施行後、2年程度の猶予期間がおかれる予定である。

◆-----◇

☆2. アレルギー支援ネットワーク理事の声ーその8ー 渡邊理事から みなさまへ★

◆-----◇

アレルギー支援ネットワーク理事の渡邊(日革研究所)です。

関西から唯一、理事長の須藤先生に唆されて?理事を拝命致しました。

私はNPO 応用生物科学研究所に所属し、十数年、屋内ダニ、カビ、空気と人の健康について研究してきました。特に難病の一つといわれるアトピー、アレルギーとダニの関わりについて、その対策と予防などの調査研究から、対策商品(ニッケンのダニ捕りマット、ダニ捕りロボ、マイクロコットンカバー)を開発、実験を続けています。

ダニが原因で困っている方へ、少しでもお役に立てればと思っています。

日革研究所 E-mail : nikkaku@nikkaku-j.com

◆-----◇

☆3. 会員からみなさまへ ★



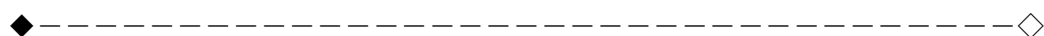
はじめまして、6月に入会させていただきました「もねママ」です。

私自身に、アレルギー性鼻炎があるため、子供にはアレルギーにはなってほしくないとそれなりに気をつけてきたつもりでした。でも、やはりそこは親子。残念ながら、ハウスダスト、ダニにアレルギー反応ありと判明してしまいました。ショックを受け、不安な気持ちになりました。

しかし、アレルギー支援ネットワークにアレルギー対応商品の購入でお世話になっていましたので、すぐに入会を申し込んだ次第です。会員になったおかげで、いろいろな資料、アドバイスをいただき本当に助かりました。心より感謝申し上げます。現在、娘はひざ裏、ひじの内側などに痒みがあり、不安を抱きつつも、ステロイドの入った薬を使っている状態です。

アレルギーについての知識もまだまだ足りない私ですが、今後ともよろしく願い申し上げます。

もねママ



☆4. ホームページのお知らせから ★



1) アレルギー大学講座受講者の声 その2

～アンケート「第2期アレルギー大学」(愛知)から～

受講者の声2は、中・上級講座受講者の方たちの声をお伝えします。

6月9日(土) 9:00～12:00 (ウィルあいち 第1・2セミナールーム)

上・中級講座「アレルギーの食品学・中級編」

講師:和泉秀彦さん (名古屋学芸大学管理栄養学部 准教授)

受講者:38名

○Drの講義より分かりやすかった。ほぼ専門研究分野の”米”についてだったのが良かったのかどうか…他の食品も同じ考え方をすれば良いのか…?

○初級から受講しなかったことを反省しています

○いつも楽しい話でおもしろかった。研究は大変だけどおもしろそうだなと思いました。ありがとうございました。和泉先生の話はすごく分かりやすくてよかった

○初級も受講したのですが、前回の内容も折り込まれており、再度同じ事を学ぶことで理解度がアップしたように思えます

○食品学から見た低アレルゲン化方法や、酸素が働かないものが、植物が身を守る為にそなわっていることなどとても勉強になりました

○アレルギーの情報は日々変わっていくので最新のアレルギーに対する情報をこれからも教えてください

6月17日(日) 9:00~12:00 (ウィルあいち 第1・2セミナールーム)

上・中級講座「食物アレルギー中級講座」

講師: 縣 裕篤さん (愛知医科大学医学部小児科 助教授)

受講者:43名

○3回の講義に出席させていただきましたが、大変勉強になりました。栄養士会の生涯学習の時期と重なり、大変忙しいときでしたが、頑張って出席してよかったです

○新しい情報の獲得、ぼんやりしていた知識の再確認ができた

○アレルギー試験のことや表示についてのことなど、また除去の効果など分かりやすく教えていただいてよかったです

○仕事に関わる内容だが、経験も浅く、まだまだ身につけていないことが多いのでよい勉強になった

○今まで3名の先生のお話をお伺いしている色々な角度からのお話を聞くことができ、またその場での言い方によって、こちらの解釈の仕方もかわり、誤解していたこともあった事など、気付くかされることが多くあり、とても勉強になりました

6月17日(日) 13:00~16:00 (ウィルあいち 第1・2セミナールーム)

上・中級講座「アレルギー対応給食の献立と栄養」

講師:高木 瞳さん (岐阜聖徳学園大学短期大学部生活学科 教授)

受講者:46名

○アレルギーっ子の受け入れ側の考え、対応の仕方など理解できてよかったです

○栄養の基礎知識として献立作成上の総論的なものを聞く事ができ、勉強になったのですが、実際に給食調理を行ううえでのお話も聞けるとよかったです

○例として紹介する給食メニューは現在実際にアレルギー対応として提供されている施設のメニューを見せてもらいたいと思います (興味があります)

○給食作りの具体的な代替食の進み方がとても参考になった

○実際の食品の成分や代替の話が聞けてよかったです。見落としがちな食品成分もあることに気付きよかったです

○実際に現場で調理を行っている人の工夫などの意見交換をできるともっと良いと思いました

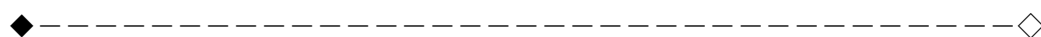
6月24日(日) 9:00~12:00 (ウィルあいち 第1・2セミナールーム)

上・中級講座「子どもの食育と給食アレルギー」

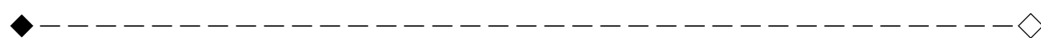
講師:小川雄二さん (名古屋短期大学保育科 教授)

受講者:43名

- 子供がどう楽しく食事をとることができるか日々考えるようになる人になりたいです"
- 目から「カコ」の情報がたくさんあって、園で伝えて実践したい事が次々と浮かんできます、月曜日が待ち遠しいです。本当にありがとうございました。先生のお話で私の気持ちも前向きになりました。愛情をあげる事がとても大切なのです
- 去年も参加させていただきましたが忘れていたり、実践できていなかったりしたことを改めて学ぶ事ができました
- 食育について、わかりやすくまとめたお話でよかったです。簡単なようではなかなかできないことや、イヤイヤながら行っているアレルギー食作りに疲れていたところで、このお話を聞くことができ、私の心の負担が軽くなったように思います。また頑張る事ができそうです。ありがとうございました
- 講座をいくつか受講させていただきましたが、とても勉強になり、このような機会を設けてくださって、とてもありがたく思います。ただ残念ながら、全講座受講する事ができなかったのが残念に思っています。そこで、講座を録画したものを貸し出ししていただけるようなものがあると、参加できなかった人も勉強する事ができ役立つのではと思いますので、是非検討していただきたいです。(あるいはアレルギー支援ネットワークのHPでみる事ができるといいなあと思います。毎年講座が開かれる予定ということなので、順次更新していただければさらにうれしいです)
- 今期に初めてアレルギー大学に参加させていただきました。講師の方々はそれぞれ多くの経験を持たれている方で、内容もとてもわかりやすかったです。このような機会を作ってください感謝しております



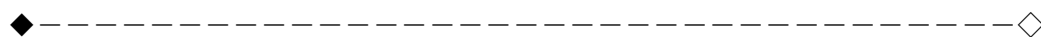
☆5. ニュース・エトセトラ ★



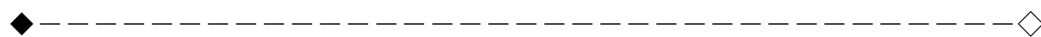
1) 食育ネット「ミニ講座」(主催:三木ライフサポート) 開催延期のお知らせ

《プチ・カレッジ》アレルギーセミナーは、会場の都合により延期しました。

3回目の「カビとアレルギー」講師 栗木成治(アレルギー支援ネットワーク理事)は、詳細が決まり次第ご案内いたします。ご迷惑をおかけしますが、よろしく願いいたします。



☆6. ボランティア・スタッフ募集★



ボランティア・スタッフを募集します

《アレルギー支援ネットワークでは、ボランティア・スタッフを募集しています》

- ・パソコン(ワード、エクセル、アクセス、お絵かきなど)が得意な方
- ・イラストなどを描くのが得意な方
- ・何でもやってみたいなという方
- ・イベント、フェアなどを手伝ってくださる方

まずは、ご連絡ください。お待ちしております。

詳しいことは、事務局までお問い合わせください。

【問い合わせ】NPO 法人アレルギー支援ネットワーク 事務局 (担当：中西)

FAX： 0564-55-5702 e-mail：info@alle-net.com

◆-----◇
☆7. アレルギー支援ネットワーク一般会員募集します ★

◆-----◇
《アレルギー支援ネットワークでは、一般会員を募集しています》

詳しくは、<http://www.alle-net.com/>

「支援ネットについて」の「会員の特典・入会書」をお読みください。

【問い合わせ】NPO 法人アレルギー支援ネットワーク 事務局 (担当：中西)

FAX： 0564-55-5702 e-mail：nakanishi@alle-net.com

◆-----◇
☆8・メールマガジン無料会員募集します ★

◆-----◇
メールマガジン無料会員とは・・・

メールアドレス（PC、携帯）を登録した方です。

メールマガジン無料会員に「アレルギー支援ネットワーク通信」（仮称）を毎月1回無料配信します。新鮮な情報を盛りだくさんお届けします。PCにも携帯（一部、表示できない機種があります）にも配信できます。

また、メールマガジンはその時々ニュースだけでなく、HPに掲載されない、読者の皆様だけへの特別割引などのご案内や、地震・水害などの被災時には、安否確認や支援などの媒体として利用をさせていただきます。

お友達やお知り合いの方にも、是非ご紹介ください。どなたでも無料会員になることができます。

PC、携帯のアドレスをお持ちでなくても、郵送でお届けすることができますので、事務局 TEL/FAX：0564-55-5702 までお問い合わせください。

メールマガジン無料会員登録は HP (<http://www.alle-net.com/>) からどうぞ。
『メールマガジン無料会員』をクリック → 『無料会員とは・・・』をお読みいただき、
同意をされる場合は、『申し込み』をクリック → 事務局へのメールのフォーマットに記
入・送信 → 登録完了
尚、配信停止もいつでもできます。

▲今後、アレルギー支援ネットワークのメールマガジンを希望されない方は、お手数です
が、件名に「配信停止希望」と書いて
アレルギー支援ネットワーク e-mail : asn-mailmagazin@alle-net.com
(担当：園木) までメールをお送りください。

★メールマガジン配信準備の都合上、配信停止手続きと行き違いでお届けする場合がございますが、ご了承ください。

★メールアドレス変更などは、
アレルギー支援ネットワーク e-mail : asn-mailmagazin@alle-net.com (担当：園木) まで
お知らせください。

★このメールマガジンのメールアドレスには、返信はできません。ご注意ください。

★メールマガジンに関するお問い合わせは、asn-mailmagazin@alle-net.com までお願いし
ます。

★会員のみなさまからのご要望、お便り、アレルギーについての疑問などお寄せください。

NPO 法人アレルギー支援ネットワーク

◇事務局◇ 444-0802 愛知県岡崎市美合町三ノ久保 13-3, 103

▽TEL/FAX : 0564-55-5702

▽E-mail : info@alle-net.com

☆◆-----◇☆